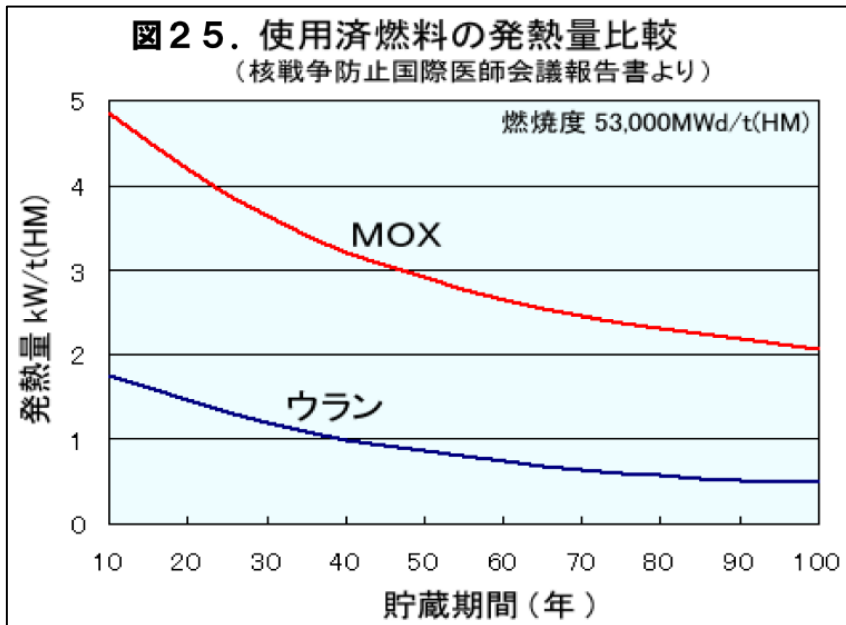
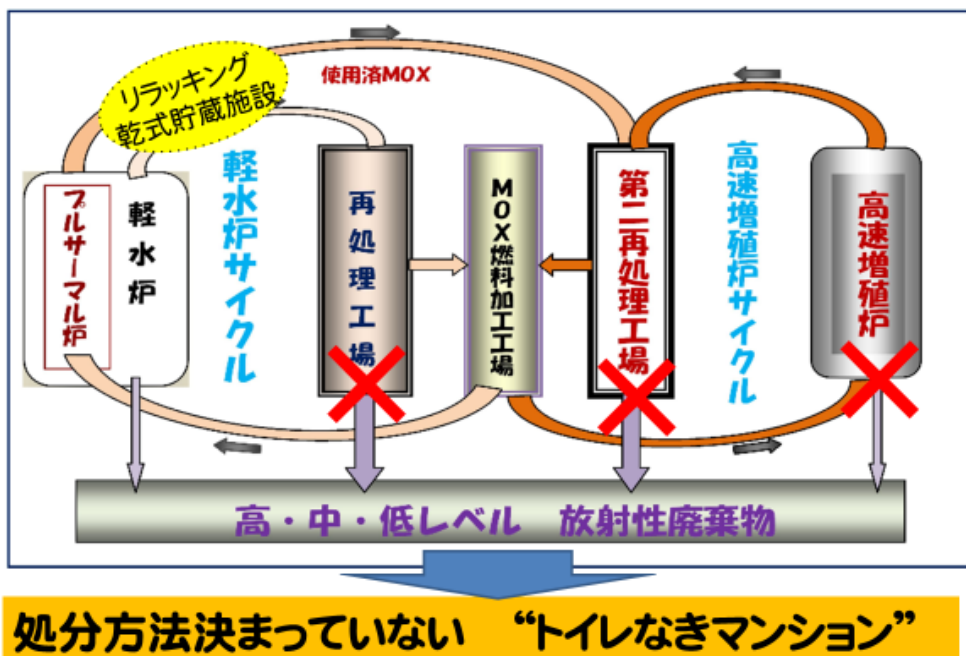


図25. 使用済燃料の発熱量比較

(核戦争防止国際医師会議報告書より)



MOX 燃料差止請求事件訴状  
(2010年8月9日)p.57より



MOX 燃料差止請求事件訴状  
(2010年8月9日)p.49を加筆

◆「玄海原子力発電所 3号機プルサーマル計画の安全性について」2006年2月7日 佐賀県

[https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00310710/3\\_10710\\_1\\_060207torimatome.pdf](https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00310710/3_10710_1_060207torimatome.pdf)

(1) 使用済 MOX 燃料の貯蔵等

県の考え:使用済ウラン燃料に比べて使用済MOX燃料の方が発熱量が高いが、現在の使用済燃料ピットの冷却能力で、必要な基準を満足しており、安全性が確保できるものと理解、納得できる。また、使用済MOX燃料の輸送については、燃料の組成(ウランやプルトニウム、その他の核分裂生成物の種類や量)は若干違うものの、国外においては、取り出して数年後に輸送した実績があり、その発熱量等を考慮した輸送容器を利用したの搬出が技術的には可能であるものと理解、納得できる。